



2022年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月1日

上場会社名 (株) クラウディアホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3607 URL <https://www.kuraudia.holdings/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 倉 正治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 若林 雄次 TEL 075-315-2345
 四半期報告書提出予定日 2022年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年8月期第3四半期の連結業績（2021年9月1日～2022年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第3四半期	7,112	36.8	255	—	733	—	777	—
2021年8月期第3四半期	5,200	△29.7	△1,203	—	△68	—	△353	—

(注) 包括利益 2022年8月期第3四半期 786百万円 (—%) 2021年8月期第3四半期 △344百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第3四半期	87.94	—
2021年8月期第3四半期	△40.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期第3四半期	13,842	3,099	22.4	349.87
2021年8月期	13,785	2,368	17.2	268.90

(参考) 自己資本 2022年8月期第3四半期 3,099百万円 2021年8月期 2,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年8月期	—	0.00	—	—	—
2022年8月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2022年8月期の配当予想につきましては、現時点では「未定」とさせていただきます。

3. 2022年8月期の連結業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当 期純利益		1株当たり当 期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	31.1	30	—	480	—	580	—	65.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※連結業績予想の修正については、2022年7月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年8月期3Q	9,689,200株	2021年8月期	9,689,200株
② 期末自己株式数	2022年8月期3Q	829,103株	2021年8月期	880,563株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年8月期3Q	8,839,509株	2021年8月期3Q	8,789,637株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料については、2022年7月1日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当企業グループを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の完全な収束時期は見通せない中、依然として先行きは不透明な状況が続いておりますが、ワクチン接種が普及した効果もあり、緩やかな回復傾向を見せております。

このような環境のもと、当企業グループはお客様と従業員の安全を第一に感染防止対策に取り組みつつ、引き続き婚礼衣裳メーカーとして“ものづくり”をコアとし、より最終消費者に近く、より大きなマーケットである挙式関連サービス事業領域 (B to C) の開拓を推進し、当企業グループの市場拡大に向け注力しております。

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。
当第3四半期連結累計期間における事業部門別売上高の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	増減	増減率 (%)
ホールセール事業部門 売上高	1,178	1,423	245	20.8
製・商品売上高	502	※2 638	135	27.1
レンタル収入等	676	785	109	16.2
コンシューマー事業部門 売上高	4,022	5,688	1,666	41.4
衣裳取扱収入	1,496	1,812	315	21.1
リゾート挙式売上高	397	※2 589	191	48.2
式場運営収入	1,268	※2 2,084	815	64.3
写真・映像・美容等売上高	858	※2 1,201	342	39.9
連結売上高	5,200	7,112	1,911	36.8

※1 上記の売上高の数値につきましては、事業部門内及び事業部門間の取引消去後となっております。

※2 「収益認識会計基準」等の適用により、当第3四半期連結累計期間の製・商品売上高は1百万円減少、リゾート挙式売上高は6百万円減少、式場運営収入は28百万円減少、写真・映像・美容等売上高は88百万円減少しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年同期と比べて回復傾向にあり、7,112百万円（前年同期比36.8%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の回復と原価率の改善により、営業利益は255百万円（前年同期は1,203百万円の損失）、経常利益は733百万円（前年同期は68百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は777百万円（前年同期は353百万円の損失）となりました。なお、当第3四半期連結累計期間は営業活動の再開が進んだため休業体制を縮小し、雇用調整助成金等による助成金収入は前年同期比63.9%減少の387百万円を営業外収益に計上しております。また、円安進行の影響による為替差益98百万円を営業外収益に計上しております。

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等の適用により、売上高は124百万円減少し、営業利益は111百万円減少、経常利益は111百万円減少しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（会計方針の変更）（収益認識に関する会計基準等の適用）」に記載のとおりであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ182百万円増加し、6,160百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金205百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ125百万円減少し、7,681百万円となりました。これは主に、建物及び構築物75百万円、差入保証金50百万円の減少、繰延税金資産66百万円の増加によるものであります。なお、のれん17百万円の増加については、株式会社クラウドディアコスチュームサービスにおける事業譲受によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ57百万円増加し、13,842百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ168百万円増加し、5,869百万円となりました。これは主に、賞与引当金119百万円、買掛金65百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金81百万円の減少によるものであります。

なお、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(会計方針の変更)(収益認識に関する会計基準等の適用)」に記載のとおり、収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に含めて表示していた「前受金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」として表示しております。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ842百万円減少し、4,872百万円となりました。これは主に、長期借入金843百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ674百万円減少し、10,742百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ731百万円増加し、3,099百万円となりました。これは主に、利益剰余金707百万円の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は22.4%となりました。

なお、2021年11月25日開催の第45回定時株主総会決議に基づき、2021年12月22日付で減資の効力が発生し、資本金1,021百万円及び資本準備金1,052百万円を減少し、その他資本剰余金に振り替えました。この結果、資本金50百万円、資本準備金50百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月期の通期連結業績予想につきましては、2021年10月1日に未定と公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2022年7月1日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、当企業グループにおいては、事業の性質上、第1四半期(9月から11月)及び第3四半期(3月から5月)の婚礼シーズン時期に、売上高、利益が偏重する傾向があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,802,291	4,711,871
受取手形及び売掛金	519,796	724,935
商品及び製品	135,185	114,682
仕掛品	40,785	53,172
原材料	198,005	200,906
貯蔵品	83,707	93,172
その他	201,592	267,461
貸倒引当金	△3,004	△5,417
流動資産合計	5,978,359	6,160,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,416,403	6,519,165
減価償却累計額	△4,303,836	△4,481,957
建物及び構築物 (純額)	2,112,567	2,037,208
機械装置及び運搬具	461,353	472,772
減価償却累計額	△427,267	△446,802
機械装置及び運搬具 (純額)	34,085	25,969
工具、器具及び備品	930,875	963,480
減価償却累計額	△798,683	△849,786
工具、器具及び備品 (純額)	132,191	113,693
レンタル衣裳	301,397	221,236
減価償却累計額	△164,687	△113,861
レンタル衣裳 (純額)	136,710	107,375
土地	2,105,287	2,105,287
建設仮勘定	3,040	3,360
有形固定資産合計	4,523,883	4,392,896
無形固定資産		
ソフトウェア	57,310	49,205
借地権	11,964	12,994
のれん	—	17,216
その他	8,799	9,954
無形固定資産合計	78,074	89,371
投資その他の資産		
投資有価証券	20,210	19,206
保険積立金	358,598	366,329
差入保証金	2,567,279	2,517,049
繰延税金資産	86,606	153,210
その他	336,838	253,102
貸倒引当金	△164,790	△109,840
投資その他の資産合計	3,204,743	3,199,059
固定資産合計	7,806,702	7,681,326
資産合計	13,785,061	13,842,111

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,099	211,093
短期借入金	3,150,000	3,155,760
1年内返済予定の長期借入金	1,233,072	1,151,968
未払法人税等	31,398	13,867
契約負債	—	416,182
賞与引当金	96,750	215,909
その他	1,045,555	705,213
流動負債合計	5,701,874	5,869,993
固定負債		
長期借入金	5,006,782	4,163,082
長期末払金	407,409	407,754
繰延税金負債	767	—
資産除去債務	268,922	270,755
その他	30,660	30,660
固定負債合計	5,714,541	4,872,251
負債合計	11,416,416	10,742,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,071,590	50,000
資本剰余金	1,203,507	2,207,981
利益剰余金	398,722	1,106,215
自己株式	△536,581	△505,210
株主資本合計	2,137,238	2,858,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,926	568
為替換算調整勘定	229,480	240,311
その他の包括利益累計額合計	231,407	240,879
純資産合計	2,368,645	3,099,866
負債純資産合計	13,785,061	13,842,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
売上高	5,200,613	7,112,023
売上原価	1,189,873	1,328,587
売上総利益	4,010,740	5,783,436
販売費及び一般管理費	5,214,111	5,528,297
営業利益又は営業損失(△)	△1,203,371	255,139
営業外収益		
受取利息	7,633	7,111
受取配当金	34	37
受取賃貸料	5,197	4,931
受取手数料	1,978	447
為替差益	27,740	98,257
貸倒引当金戻入額	—	14,229
助成金収入	1,072,333	387,506
その他	72,867	12,332
営業外収益合計	1,187,785	524,855
営業外費用		
支払利息	31,550	39,783
支払手数料	21,018	1,036
その他	604	5,711
営業外費用合計	53,172	46,531
経常利益又は経常損失(△)	△68,757	733,463
特別利益		
固定資産売却益	—	473
投資有価証券売却益	0	—
保険解約返戻金	37	—
特別利益合計	37	473
特別損失		
減損損失	11,224	—
固定資産売却損	29,038	—
固定資産除却損	0	1,244
投資有価証券売却損	88	—
特別損失合計	40,351	1,244
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△109,071	732,692
法人税、住民税及び事業税	24,280	22,170
法人税等調整額	220,228	△66,825
法人税等合計	244,508	△44,655
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△353,580	777,347
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△353,580	777,347

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△353,580	777,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,303	△1,357
為替換算調整勘定	6,546	10,830
その他の包括利益合計	8,850	9,472
四半期包括利益	△344,730	786,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△344,730	786,820
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月25日開催の第45回定時株主総会の決議により、会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、2021年12月22日を効力発生日として、資本金1,021,590千円及び資本準備金1,052,138千円を減少し、その他資本剰余金に振り替えております。この結果、資本金は50,000千円、資本準備金は50,000千円となっております。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、主に写真・映像事業における取引について、従来は挙式日時点で収益を認識しておりましたが、アルバム・DVD等の納品日時点で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は124,648千円減少、売上原価は13,051千円減少し、営業利益は111,596千円減少、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ111,294千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は69,853千円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に含めて表示していた「前受金」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、「営業外収益」に区分掲記して表示しておりました「受取保険金」は、金額的重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結累計期間より「営業外収益」の「その他」に含めて表示することといたしました。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取保険金」741千円、「その他」72,126千円は、「営業外収益」の「その他」72,867千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

（重要な後発事象）

当社は、2022年3月31日開催の取締役会において、当社の100%子会社である株式会社クラウドディアコスチュームサービスが運営する結婚式場「ル・センティフォーリア天保山」事業（以下「対象事業」といいます。）と、当社が保有する「ル・センティフォーリア天保山」に係る固定資産（以下「対象施設」といいます。対象事業と対象施設をあわせて「本件事業」といいます。）を株式会社クリスタルインターナショナルへ事業譲渡（以下「本件事業譲渡」といいます。）することを決議し、2022年6月1日に本件事業譲渡を実行いたしました。

1. 事業譲渡の理由

当企業グループは、コンシューマー事業領域の中長期的な業績の拡大を図っていくため経営資源の投資先を慎重に検討し、スクラップ・アンド・ビルドを進めておりました。

このような状況の中、経営資源の最適化を図るために、本件事業譲渡を実施することが中長期における当企業グループの企業価値向上に資すると判断いたしました。

2. 相手会社の名称

株式会社クリスタルインターナショナル

3. 事業譲渡の概要

（1）当該事業の内容

結婚式場「ル・センティフォーリア天保山」の運営

（2）事業譲渡の方法

対象施設にて株式会社クラウドディアコスチュームサービスが運営する対象事業をあらかじめ当社に事業譲渡したのち、当社が対象施設と対象事業をあわせて株式会社クリスタルインターナショナルへ事業譲渡いたしました。

（3）本件事業の直前事業年度における売上高及び経常利益

	本件事業(a)	2021年8月期連結実績 (b)	比率 (a/b)
売上高	206百万円	7,015百万円	2.9%
経常利益	△15百万円	△405百万円	—

※上記は対象施設の損益と、対象事業の損益を合算した損益であります。

（4）本件事業の資産、負債の項目及び金額（2022年5月31日現在）

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	26百万円	流動負債	26百万円
固定資産	0百万円	固定負債	—
合計	27百万円	合計	26百万円

（5）譲渡価格及び決算方法

譲渡価格 20百万円

決済方法 銀行振込

4. 日程

（1）	取締役会決議日	2022年3月31日
（2）	契約締結日	2022年3月31日
（3）	事業譲渡期日	2022年6月1日